BUFFALO

BOMUW24A02BL

取扱説明書



安全にお使いいただくために必ずお守りください

警 告

ご使用に際しての注意事項

本製品を安全にお使いいただくため、下記注意事項を必ずお守りください。

- **本製品を次の場所に設置しないでください。感電・火災の原因になったり、製品に悪影響を与える場合があります。**
  強い磁界・静電気・震動が発生するところ、平らでないところ、直射日光があたるところ、火気の周辺または熱気のこもるところ、漏電・漏水の危険があるところ、油煙、湯気、湿気やホコリの多いところ
- **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
- **本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。**
- **本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。**
- **異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、弊社テクニカルサポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。**

注 意

スチールテーブル等、鉄、銅、アルミ等の材質は、本製品の無線性能を低下させるおそれがあります。これらの材質のものから 10cm 以上離れた場所でお使いください。

バッテリーパックの取り扱いに関する警告・注意

危 険

電池を取り扱うときは、次のことを守ってください

- 分解、改造、修理しない。
- 電極の (＋) と (−) を針金等の金属で接続しない。また、金属性のネックレスやヘアピン、カギ等と一緒に持ち運んだり、保管したりしない（接触し、ショートする危険性があります）。
- 火の中に投入したり、60℃以上の高温の場所や水の中に放置しない。
- 釘を刺したり、かなづちで叩いたり、踏みつけたりしない。
- 消耗しきったバッテリーパックを入れたままにしない。

・ 長期間使用しないときは、バッテリーパックを取り外し、常温の乾燥した場所に保管する。

以上のことを守らないと、液もれ・発熱、発火、破裂し、やけどやけがをする恐れがあります。

・ バッテリーパック内部の液がもれたときは、液に触れないでください。やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。
・ 液もれの発生したバッテリーパックは使用しないでください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。弊社テクニカルサポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

警告

バッテリーパックを使用・交換するときは、必ず弊社製「BOMUB」を使用してください

弊社製「BOMUB」以外のバッテリーパックを使用したり、指定しない使い方をすると、液もれ・発熱、発火、破裂し、やけどやけがをしたり、製品の故障の恐れがあります。

本製品のバッテリーパックには、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。交換および、ご使用済み製品から取り外したバッテリーパックのリサイクルに際しては、端子をセロハンテープなどで絶縁するか、ポリ袋に入れて販売店などリサイクル協力店にある「充電式電池リサイクルボックス」に入れてください。

Ni-MH
使用後は
リサイクルへ

ニッケル水素電池は法律により、回収・リサイクルが義務づけられています。一般のゴミとして廃棄することはできません。

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）を参照してください。

マウスご使用時の注意

- 光学式読み取りセンサーの性質上、光沢のある面や透明な面、色柄の激しい場所では認識率が低下したり読み取れない場合がありますので、ご使用にならないでください。やむを得ずご使用になる場合は、マウスパッドなどをマウスの下に敷いてください。
- マウス底面から発せられる赤い光を直接見ることは避けてください。眼を傷めることがあります。
- センサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。
- 航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内でのマウスの使用は避け、機内に持ちこむときはバッテリーパックを取り外すか、電源を OFF にしてください。
- ボタンが常に押されている状態や、マウス本体が常に動かされているような状態が長く続くと、バッテリーパックの消耗が速くなりますので注意してください。
- カバン、袋などに入れて持ち歩くときは、バッテリーパックを必ず取り外してください。

電波に関する注意

- 本製品は､電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）

- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品を分解／改造すること
  ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局（免許を要する無線局）
  ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可

保 証 契 約 約 款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第 1 条（定義）

1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第 2 条（無償保証）

1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品名および製品シリアル No. 等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアル No. 等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第 3 条（修理）

この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。

1 修理のご依頼時には製品を弊社テクニカルサポートセンターにご送付ください。テクニカルサポートセンターについては各製品添付のマニュアル（電子マニュアルを含みます）またはパッケージをご確認ください。尚、送料は送付元負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断り致します。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記憶装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内容により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがございますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破損、消失などにつき、一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、 修理をご依頼された際にお客様からお知らせ頂ければ、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第 4 条（免責事項）

1 お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定にかかわらず、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。
3 弊社における保証は、お客様がご購入された製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第 5 条（有効範囲）

この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

もくじ

パッケージの内容

本製品には次のものが梱包されています。
万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●マウス（本体）................................ 1 台



●レシーバ.. 1 台



●充電用クレードル........................... 1 台
●取扱説明書（本書）........................ 1 冊
●充電用 AC アダプタ........................ 1 個
●ユーティリティ CD.......................... 1 枚

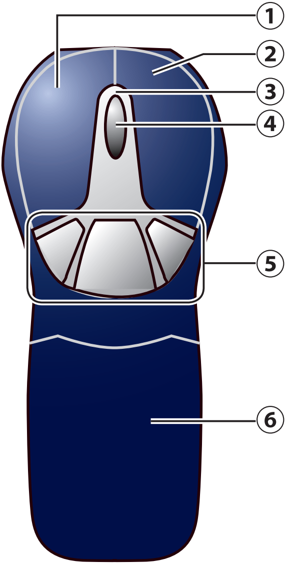
メモ　別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

製品概要と各部の名称

製品概要

本製品は、ジャイロスコープを搭載した空間ワイヤレスマウスです。
ジャイロスコープが手の動きを感知することで、空中でのマウス操作が可能です。
また、光学式センサーも搭載していますので、通常のワイヤレスマウスとしても使用できます。

各部の名称



マウス (上部)

①左ボタン

Windows の操作の左クリックに使います。

②右ボタン

Windows の操作の右クリックに使います。

③マウスランプ

点灯 (緑)：　マウスの操作時 / 充電完了時
点滅 (緑)：　充電時

④ホイール

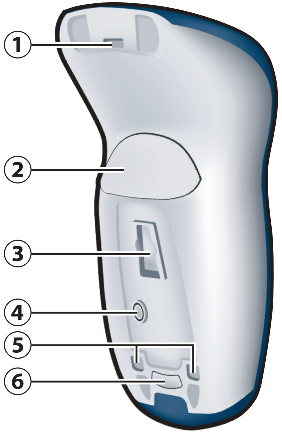
指で回転させたり、ボタンのように押すことで Windows の操作ができます。

⑤プログラムボタン

GyroTools(P13) で割り当てたプログラムを読み出すときに使用します。

⑥バッテリーパック

本製品のバッテリーパックです。



マウス (下部)

①ジャイロスコープ
空中でのマウスの動きを検知するセンサーです。

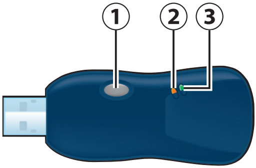
②トリガーボタン
本製品を空中で操作する際に使用します。(P12)

③光学センサー
机上でのマウスの動きを検知するセンサーです。光学センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますのでご注意ください。

④接続ボタン
本製品の電源の ON/OFF やレシーバと同期させる際に押します。

⑤充電用端子
充電用の端子です。この部分には、手を触れないでください。

⑥イジェクトボタン
バッテリーパックを取り外す際に押します。



レシーバ

①接続ボタン
接続ボタンを 2 秒間押すと、レシーバは本製品と接続可能な接続モードになります。接続モードのまま 1 分間たつと、自動的に通常モードに戻ります。

②ステータスランプ
消灯　　：レシーバが通常モードで動作していて、デバイスと全く通信していない場合。
点滅 (緑)：レシーバが通常モードで動作していて、デバイスと通信中である場合。

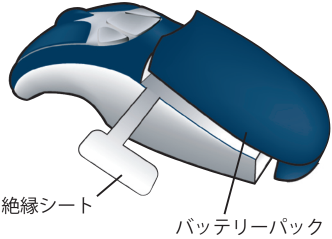
③接続ランプ
点滅 (橙)：レシーバが接続モードであり、接続準備中である場合。
点灯 (橙)：デバイスに接続した場合。

ご使用になる前に

絶縁シートの取り外し

本製品は、出荷時に本製品とバッテリーパックの間に絶縁シートがセットされています。お使いになる前に、絶縁シートを取り外してください。

1. 本製品底面のイジェクトボタンを押しながら、バッテリーパックを取り外します。
2. プラスチックの絶縁シートを取り外します。
3. バッテリーパックを元に戻します。



バッテリーパックの充電

絶縁シートを取り外したら、本製品を充電してください。
本製品を初めてご使用になる場合は、約 9 時間の充電が必要です。

1. AC アダプタをクレードルに接続し、コンセントに差し込みます。
2. 本製品をクレードルの上に置くと、クレードル底面のランプが青く点灯し、マウスランプがゆっくり緑色に点滅します。
3. バッテリーパックの充電が完了すると、マウスランプは緑色に点灯します。

メモ

- 本製品を暗い色の表面で使用すると、動作時間が短くなります。
- 本製品の使用中、バッテリー残量が 20% 未満になると、マウスランプが点滅します。
- 充電が完了しなくても、クレードルから本製品を取り外して構いません。
- 本製品を 24 時間以上操作しない場合、バッテリー保護のためスリープモードになります。

レシーバの取り付けと同期

本製品を初めて使用する場合、本製品とレシーバの同期が必要です。
以下の手順で同期してください。

1. レシーバをパソコンの USB ポートに接続して、パソコンの電源を ON にします。

2. レシーバが検出され、自動的にドライバがインストールされます。

3. インストールが完了したら、レシーバの接続ボタンを 2 秒間押し続けてから、指を離します。レシーバが接続モードになり、接続ランプが点滅します。

   メモ　接続モードのまま 1 分経過すると、接続モードは解除されます。

4. 本製品底面の接続ボタンを 1 回押します。レシーバの接続ランプの点滅が止まると、同期は完了です。

   メモ　一度、レシーバと同期を行うと、電源を OFF にしても、同期の情報は保持されます。

使いかた

電源の ON/OFF

本製品の電源の ON/OFF は、底面の接続ボタンで行います。

電源を ON にするとき： 接続ボタンを押すと、電源が ON になります。
（その際、マウスランプが 1 秒間点滅します）

電源の OFF にするとき： 7 秒間、接続ボタンを押すと、電源が OFF になります。
（その際、マウスランプが 3 度点滅します）

メモ
移動時は､電源をOFFにしていると､バッテリーの消耗を防ぐことができます。航空機内などでは、バッテリーパックを取り外すか、電源を OFF にしてください。

机上での使用

本製品は、光学式センサーを搭載しているため、通常の光学式マウスと同様に机上で使用することができます。使用方法は、通常のマウスと同じです。

注 意
ガラスなどの透明なものや鏡などの強く反射するものの上で使用すると、光学式センサーが正常に動作せず、マウスカーソルの動作が不安定になりますのでご注意ください。

メモ
本製品を机の上から離すと、バッテリーの消耗を防ぐために光学式センサーが OFF になり、ジャイロスコープが ON になります。

空中での使用

本製品は、光学式センサーの他にジャイロスコープも搭載しているため、空中でも使用することができます。空中で使用する場合は、次のように操作してください。



1. 本製品を軽く持って、人差し指をトリガーボタンに、親指をホイールに置きます。

2. 人差し指でトリガーボタンを押しながら、懐中電灯を持つように、手首を上下左右に曲げてみてください。
   手の動きに応じて、マウスカーソルが移動します。

   メモ　本製品は、レシーバやディスプレイに向けなくても操作できます。

3. 親指を使って、本製品の左右のボタンやホイールを操作してください。

   メモ
   - トリガーボタンをダブルクリックすると、カーソルが動き続けます。再度カーソルを停止する場合は、トリガーボタンを一回クリックしてください。
   - アイコンをクリックする際は、トリガーボタンを離してからクリックしましょう。トリガーボタンを離すと、カーソルが動かなくなるため、より正確にクリックできます。

マウスの設定

本製品は Windows 標準のドライバを使用しますので、マウスに関する設定は、すべて Windows のコントロールパネルで行います。お好みに応じて、微調整を行ってください。調整方法については、Windows のヘルプを参照してください。

メモ
- 弊社では、以下の設定で使用することを推奨しています。
  【ポインタ速度】⇒ [平均]　**【加速】**⇒ [低い] か [off]
- 本製品のプログラムボタンを使用するには、GyroTools をインストールしてください。（P13）

GyroTools ソフトウェア

GyroTools は、本製品の機能性を高めるソフトウェアです。
お好みのツールを本製品に割り当てることで、手軽に高度なプレゼンテーションを行うことができます。ご使用になる場合は、以降の手順にしたがってインストールしてください。

注 意

- Windows Vista をお使いの場合、付属 CD をセットした際に「自動再生」画面が表示されることがあります。その場合は、「setup.exe の実行」をクリックしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」という画面が表示されることがあります。その場合は、［許可］をクリックして、セットアップを続行してください。

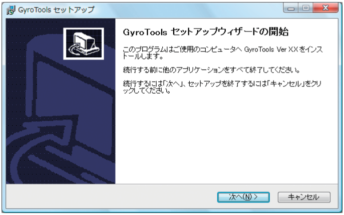
メモ

本製品を操作するだけであれば、GyroTools のインストールは必要ありません。

インストール方法と起動方法

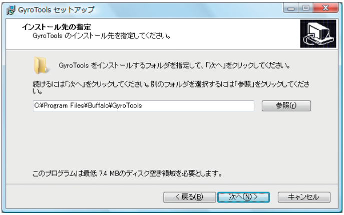
1. 付属 CD をパソコンにセットします。CD をセットすると、右のような画面が表示されます。

2. ［次へ］をクリックします。

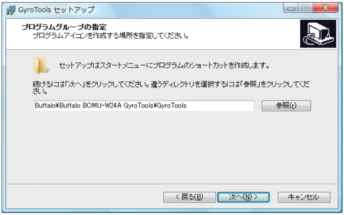


3. 使用許諾契約の内容をよく読み、同意できる場合は「同意する」を選択し、［次へ］をクリックします。

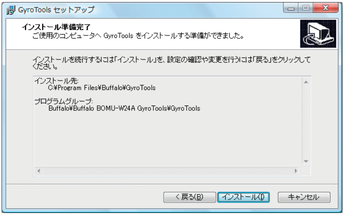
4. GyroTools をインストールするフォルダを選択し、［次へ］をクリックします。



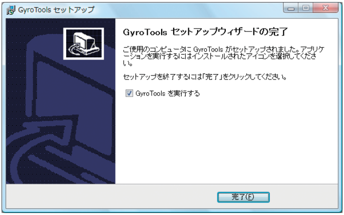
5. ショートカットの作成先を確認し、［次へ］をクリックします。



6. 内容を確認して［インストール］をクリックします。



7. この画面が表示されたら、[完了]をクリックします。[完了]をクリックすると、GyroTools が起動します。



メモ 次回からは、[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [BUFFALO] ー [Buffalo BOMU-W24A GyroTools] ー [GyroTools] ー [GyroTools] を選択すると、GyroTools が起動します。

ツールの割り当てかた

GyroTools の各画面にある四角の枠に、各ツールのアイコンをドラッグ＆ドロップすれば、ツールを割り当てることができます。

メモ 四角の枠を右クリックしたときに表示されるメニューから、[新しいツール] (または [ツールの交換]) を選択することでもツールの割り当てを行うことができます。

GyroTools の画面について



●メディアボタン
本製品のプログラムボタンでツールを起動させる方法です。ツールを割り当てられるプログラムボタンは左と右の 2 つがあり、各ボタンを押すと、割り当てられたツールが起動します。

●右ボタン
本製品の右ボタンでツールを起動させる方法です。右ボタンを 2 回クリックする (ダブル右クリック) か、右ボタンを押し続ける (右ボタンを押し続ける) と、割り当てられたツールが起動します。

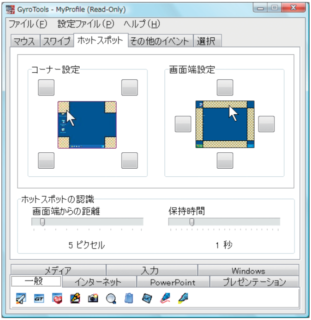
●スクロールホイール
本製品のホイールボタンでツールを起動させる方法です。ホイールボタンを2回クリックする (ダブルスクロールクリック) か、ホイールボタンを押し続ける (スクロールを押し続ける) と、割り当てられたツールが起動します。



●スワイプ
本製品中央のプログラムボタンとマウスジェスチャーを使ってツールを起動させる方法です。このボタンを押しながら、上下左右斜めの 8 方向へマウスを動かすと各動作に割り当てられたツールが起動します。

●シェイクジェスチャ
本製品を上下左右方向に振ってツールを起動させる方法です。上下方向か左右方向に振ると、各動作に割り当てられたツールが起動します。

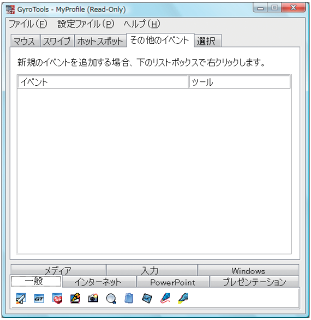
●動作認識
マウスジェスチャーの感度を設定します。［スワイプの表示］にチェックマークをつけると、スワイプの際の動作がディスプレイ上に表示されます。



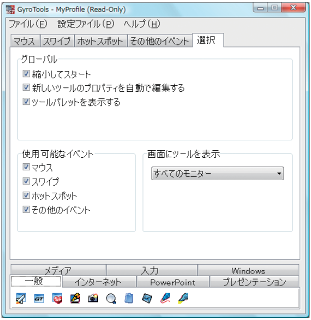
●コーナー設定
Windows 画面を使ってツールを起動させる方法です。画面の四隅にマウスカーソルを移動させると、ツールが起動します。

●画面端設定
Windows 画面を使ってツールを起動させる方法です。画面の縁にマウスカーソルを移動させると、ツールが起動します。

●ホットスポットの認識
ツールを起動させる条件を設定します。[画面端からの距離]は、画面の四隅や縁から何ピクセルの位置までホットスポット領域を作成するか、[保持時間]は、その位置に何秒間カーソルを置くと、ツールが起動するかを設定します。



●その他のイベント
ある特定のキー操作、またはあらかじめ設定した時間によって、ツールを呼び出す方法です。
この画面上で右クリックし、表示されたメニューから[新規イベント]を選択して動作とツールを割り当てます。
例えば､イベントに[キーストロークククリック](Control + Alt + 1)を､ツールに[ペン]を設定すると､[Ctrl]+[Alt]+[1]キーを押すことで､[ペン]ツールが起動します。



●グローバル
この画面のオプションを設定する項目です。

縮小してスタート
GyroTools 起動時に、メインウインドウを表示するかどうかを設定します。

新しいツールのプロパティを自動で編集する
ツール割り当て時に、自動的にツールのプロパティを表示するかどうかを設定します。

ツールパレットを表示する
メインウインドウ下部にある、ツールパレットを表示するかどうかを設定します。

●使用可能なイベント
［マウス］、［スワイプ］など、各種設定項目をメインウインドウに表示するかどうかを設定します。

●画面にツールを表示
ディスプレイが 2 台以上ある環境でツールを起動した際、ツールを表示するディスプレイを設定します。［すべてのモニター］を選択すると、すべてのディスプレイにツールが表示されます。

各種ツールについて

［一般］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

	**起動プログラム**	Windows アプリケーションを呼び出すツールです。すでに Windows に関連付けられているアプリケーションを割り当ててください。
	**表示設定**	GyroTools を起動するツールです。
	**プロファイルの変更**	GyroTools で作成したプロファイルを切り替えるツールです。現在のプロファイルは、GyroTools の画面から［ファイル］－［名前を付けて保存］を選択すると、保存することができます。
	**スクリーンセーバー**	Windows のスクリーンセーバーを起動するツールです。
	**イメージのキャプチャ**	現在表示されている画面を画像として保存するツールです。画像は、［マイドキュメント］フォルダ内の［マイピクチャ］フォルダに保存されます。
	**ズーム**	現在表示中の画面を拡大するツールです。
	**クリップボード**	Windows のクリップボードにテキストを入れるツールです。
	**メールの起動**	現在使用中のメールソフトを起動するツールです。
	**ペン**	現在表示中の画面に書き込みをするためのペンツールです。ツールを起動している状態でホイールを回すと、色を選択できます。
	**蛍光ペン**	現在表示中の画面に書き込みをするためのハイライトツールです。ツールを起動している状態でホイールを回すと、色を選択できます。

［インターネット］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

	**ブラウザ – 有効**	WEB ブラウザを起動するツールです。デフォルトの WEB ページ以外にアクセスするには、［ブラウザー -URL へ移動］ツールを使用してください。
	**ブラウザ –URL へ移動**	デフォルトの WEB ブラウザを起動して、あらかじめ指定した WEB ページにアクセスするときに使用するツールです。WEB ページの URL は、ツールを割り当てたときに表示される画面で入力します。
	**ブラウザ – 進む**	WEB ブラウザの［進む］ボタンと同じ機能を持つツールです。
	**ブラウザ – 戻る**	WEB ブラウザの［戻る］ボタンと同じ機能を持つツールです。
	**ブラウザ – 更新**	WEB ブラウザの［更新］と同じ機能を持つツールです。
	**ブラウザ –Home**	WEB ブラウザの［ホーム］と同じ機能を持つツールです。WEB ブラウザが起動していないときに実行すると、ブラウザを起動して、ホームページを表示します。
	**ブラウザ – 検索**	WEB ブラウザの［検索］と同じ機能を持つツールです。
	**ブラウザ – お気に入り**	WEB ブラウザの［お気に入り］と同じ機能を持つツールです。実行すると、素早く「お気に入り」にアクセスできます。
	**ブラウザ – お気に入りに追加**	現在表示中の WEB ページを「お気に入り」に追加する場合に使用するツールです。
	**ブラウザ – 新規ウィンドウ**	WEB ブラウザを使用中に、新しいウインドウを開く場合に使用するツールです。
	**ブラウザ – 印刷**	WEB ブラウザを使用中に、ブラウザに表示されているページを印刷する際に使用するツールです。
	**ブラウザ – 停止**	WEB ブラウザの［中止］と同じ機能を持つツールです。
	**ブラウザ – 下**	WEB ブラウザに表示中のページを下側にスクロールする際に使用するツールです。
	**ブラウザ – 上**	WEB ブラウザに表示中のページを上側にスクロールする際に使用するツールです。

ブラウザ – 次ページ	WEB ブラウザに表示中のページを 1 ページ分、下側にスクロールする際に使用するツールです。
ブラウザ – 前ページ	WEB ブラウザに表示中のページを 1 ページ分、上側にスクロールする際に使用するツールです。

［Powerpoint］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。
(Microsoft Office2003 でのみご使用いただけます)

PowerPoint ペン	PowerPoint を使ったプレゼンテーションを行う際、表示中のスライドに書き込みをするためのペンツールです。ツールを起動している状態でホイールを回すと、色を選択できます。
PowerPoint ポインタ	カーソルを 8 つの幾何学的な形に変えるツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、カーソルの大きさを変更することができます。
PowerPoint シェイプ	カーソルを 136 個のクリップアートポインタに変えるツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、ポインタの大きさを変更することができます。
PowerPoint テキスト	あらかじめ登録しておいたテキストをスライドに挿入するツールです。ツールを起動し、挿入したい位置にカーソルを移動させて左ボタンをクリックすると、テキストが挿入されます。
ブラックスクリーン	プレゼンテーション中に、ブラックスクリーンを表示するツールです。
ホワイトスクリーン	プレゼンテーション中に、ホワイトスクリーンを表示するツールです。
スライドへ移動	プレゼンテーション中に別のスライドに移動するツールです。
次のスライド	プレゼンテーション中に次のスライドに進むツールです。
前のスライド	プレゼンテーション中に前のスライドに戻るツールです。
最初のスライド	プレゼンテーション中に最初のスライドに移動するツールです。
最後のスライド	プレゼンテーション中に最後のスライドに移動するツールです。
スライドショーの終了	プレゼンテーションのスライドショーの画面から抜けるツールです。

［プレゼンテーション］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

消しゴム	画面上に書き込まれた内容を消去するツールです。
デジタル時計	現在パソコンに設定されている時刻を画面にデジタル表示するツールです。ツールを起動している状態でホイールを回すと、背景の色を選択できます。
カウントダウンタイマー	画面上にカウントダウンタイマーを表示するツールです。タイマーを表示した状態で、マウスの左ボタンをクリックすると、クリックする度にカウント時間が 5 分増えます。
アナログ時計	現在パソコンに設定されている時刻を画面にアナログ表示するツールです。ツールを起動している状態でホイールを回すと、背景の色を選択できます。
画像の表示	あらかじめ登録した画像を画面上に表示するツールです。
非表示と表示	マスクを使ってスクリーンの内容を見せたり隠したりするツールです。ツールを起動すると、スクリーン全体がマスクで覆われます。その状態で、トリガーボタンを押しながらマウスを上下に動かすと、マスクを閉じたり開いたりすることができます。
クリップアートポインタ	カーソルを 42 個のクリップアートポインタに変えるツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、ポインタの大きさを変更することができます。
図形ポインタ	カーソルを 13 個の幾何学的な形に変えるツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、カーソルの大きさを変更することができます。
スポットライト	無地か透明のマスクで隠されたスクリーン上のものを、スポットライトを当てるようにして表示するツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、表示する領域の大きさを変更することができます。
サブリミナルメッセージ	あらかじめ登録したメッセージをスクリーン上に一瞬だけ表示するツールです。

テキストテープ	あらかじめ登録したメッセージをスクリーン上に表示し、それをスクロールさせるツールです。
ズーム	現在表示中の画面を拡大するツールです。
Laser（レーザーポインタ）	カーソルをレーザーポインタの形に変更するツールです。トリガーボタンと左ボタンを同時に押しながらマウスを動かすと、ポインタの大きさを変更することができます。
テキストスタンプ	あらかじめ登録しておいたテキストをスクリーン上に挿入するツールです。ツールを起動し、挿入したい位置にカーソルを移動させて左ボタンをクリックすると、テキストが挿入されます。

［メディア］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

ボリューム調整	音量を調整するツールです。ツールを実行中にマウスを上下させことで、音量を調整することができます。
ボリュームを上げる	音量を上げるツールです。初期設定では、実行するたびに音が大きくなります。
ボリュームを下げる	音量を下げるツールです。初期設定では、実行するたびに音が小さくなります。
ボリュームをミュートする	消音するツールです。もう一度実行すると、消音が解除されます。
再生または一時停止	CD やプレイリストの再生を一時停止するツールです。もう一度実行すると、再生が再開されます。
次の曲へ	CD やプレイリストの次のトラックを呼び出すツールです。
前の曲へ	CD やプレイリストの前のトラックを呼び出すツールです。
停止	CD やプレイリストの再生を停止するツールです。
CD を再生する	CD を再生するツールです。
音を再生する	あらかじめ指定した音声ファイルを再生するツールです。ファイルの指定は、ツールを割り当てた際に表示される画面で行ってください。
ムービーの再生	あらかじめ指定した動画ファイルを再生するツールです。ファイルの指定は、ツールを割り当てた際に表示される画面で行ってください。

［入力］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

カーソルを中央に戻す	カーソルを画面の中央に戻すツールです。
キーボード	スクリーンキーボードを呼び出すツールです。ただし、日本語の入力には対応しておりません。
キーパッド	スクリーンキーボード（テンキー）を呼び出すツールです。
キーストローク	あらかじめ登録したショートカットキーを呼び出すツールです。例えば、［ALT］キーと［F4］キーの組み合わせを割り当てれば、起動中のアプリケーションを即座に終了させることができます。ショートカットキーの指定は、ツールを割り当てた際に表示される画面で行ってください。
前ページ	現在表示中のドキュメントページを上側にスクロールする際に使用するツールです。
次ページ	現在表示中のドキュメントページを下側にスクロールする際に使用するツールです。
Enter	キーボードの［Enter］と同じ役割をするツールです。
エスケープ	キーボードの［Esc］と同じ役割をするツールです。
Delete	キーボードの［Delete］と同じ役割をするツールです。
左クリック	マウスの左ボタンと同じ役割をするツールです。
右クリック	マウスの右ボタンと同じ役割をするツールです。

［Windows］ツールのカテゴリでは、以下のツールが利用できます。

切り取り	現在有効なドキュメントファイル上で選択したものを、Windows のクリップボードに移動するツールです。
コピー	現在有効なドキュメントファイル上で選択したものを、Windows のクリップボードにコピーするツールです。

	貼り付け	Windows のクリップボードにあるコンテンツを、貼り付けるツールです。クリップボードにデータがない場合は、このツールは機能しません。
	ウィンドウを閉じる	現在有効になっているアプリケーションを終了させるツールです。
	ドキュメントを閉じる	現在有効になっているファイルを閉じるツールです。
	ドキュメントのトップ	ドキュメントファイルをスクロールして、トップの部分を表示するツールです。
	ドキュメントの下部	ドキュメントファイルをスクロールして、最後の部分を表示するツールです。
	前ページ	ドキュメントファイルの前のページに戻るツールです。
	次ページ	ドキュメントファイルの次のページに進むツールです。
	すべてを縮小 または復元	現在、開いているウインドウとアプリケーションをタスクバーに最小化するツールです。もう一度実行すると、元に戻ります。
	次のウィンドウ	複数のウインドウを開いているときに、ウインドウを切り替えるツールです。実行すると、次のウインドウへ移動します。
	前のウィンドウ	複数のウインドウを開いているときに、ウインドウを切り替えるツールです。実行すると、前のウインドウへ戻ります。
	次のドキュメント	Word や EXCEL などで、複数のドキュメントファイルを開いている場合、実行すると、次のドキュメントに移動します。
	前のドキュメント	Word や EXCEL などで、複数のドキュメントファイルを開いている場合、実行すると、前のドキュメントに戻ります。
	ヘルプ	ヘルプを起動するツールです
	スタートメニュー	Windows のスタートメニューを起動するツールです

困ったときは

本製品を使用していて、発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

トリガーボタンを押すと、マウスランプは点灯しますが、レシーバは無反応です。

原因

マウスとレシーバが同期されていません。

対策

「レシーバの取り付けと同期」(P10) を参照して、マウスとレシーバを同期させてください。

空中で使用する際、カーソルが全く動きません。

原因

バッテリーの残量が少なくなっています。

対策

バッテリーを充電するか、取り替えてください。（P9）

トリガーボタンを押すと、マウスランプが OFF になります。

原因①

バッテリーの残量が少なくなっています。

対策①

バッテリーを充電するか、取り替えてください。（P9）

原因②

マウスの電源が OFF になっています。

対策②

電源を ON にしてください。（P11）

カーソルの移動が速すぎる / 遅すぎる。

原因

カーソルの移動速度が適切に設定されていません。

対策

コントロールパネル内のマウスの設定で、カーソルの移動速度を適切に設定してください。

操作をしていないのに、マウスカーソルが動きます。

原因

センサーが再測定を要求しています。

対策

マウスを机の上に4秒以上置いて、カーソルを止めてください。

充電用クレードルに置いてもマウスランプが点滅しません。

原因①

端子が汚れています。

対策①

マウス底面の充電用端子を掃除してください。

原因②

バッテリーの寿命です。

対策②

バッテリーを交換してください。

バッテリーが切れるのが早い。

原因

表面が暗いところで使用しています。

対策

表面が明るいところで使用してください。

製品仕様

本製品の仕様について説明します。

無線インターフェース	準拠規格：特定小電力データ通信システム 伝送方式：直接拡散型スペクトラム拡散　（DS-SS）方式
USB インターフェース	USB Revision 1.1 準拠
送信周波数範囲	2.403GHz ～ 2.479GHz ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、 これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。 ※ 無線 LAN（802.11g/b）と同じ周波数帯域を使用しますので、近くで無線 LAN を使用している場合、無線 LAN のスループットを低下させることがあります。
対応機種	USB2.0（または 1.1）ポートを搭載する DOS/V 機 または NEC 製 PC98-NX シリーズ
対応 OS	Windows Vista(32bit)/XP（Media Center Edition 2004、2005 を含む）/2000/Me/98SE ※ 添付の GyroTools をご使用になる場合、Windows Vista(32bit)/XP/2000 と Direct X 8.0 以降がインストールされている必要があります。
電源	DC2.4V　充電式ニッケル水素バッテリーパック
電波到達距離	空中 約：20 ～ 30m、木の机：約 10m 、鉄の机：約 6m
使用可能時間（最大）	連続 96 時間
動作環境	温度： 5 ～ 40℃ 、湿度 ：5% ～ 90%（結露なきこと）
分解能	800dpi
外形寸法	マウス本体：55(W) × 45(H) × 130(D)mm 充電用クレードル：46(W) × 26(H) × 140(D)mm レシーバ：70(W) × 9(H) × 30(D)mm
重量	マウス本体：135g、充電用クレードル：35g、レシーバ：15g
取得規格	工事設計認証、VCCI Class B
製造元・販売元	製造元：Gyration, Inc. 販売元：株式会社バッファローコクヨサプライ

お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にてご確認いただきますようお願いいたします。

マニュアル（印刷物、添付 CD 等）をご確認ください。

弊社ホームページにて

最新 FAQ 情報、最新ドライバダウンロードをご確認ください。

ホームページ **http://buffalo-kokuyo.jp/**

上記で改善しない場合は、**テクニカルサポートセンター**へお問い合わせください。

電話でのお問い合わせ先

※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。

03 - 5365 - 3106

月〜土（日･祭日、年末年始除く）
9:30 〜 12:00 / 13:00 〜 18:00

FAX でのお問い合わせ先

03 - 3375 - 2327

Web でのお問い合わせ先

http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/

BOMUW24A02BL 取扱説明書

2007 年 8 月 31 日 第 3 版発行
発行　株式会社 バッファローコクヨサプライ